

はまゆう



Vol.

12

2009.夏号



病院の玄関前を彩るはまゆうの花

理念

私たちは、地域に根ざした医療機関として、最高の誠実さと最大限の努力で、親切で質の高いサービスを提供し、健康・福祉のレベルの高い地域づくりを行います。

基本方針

1. 利用者の権利の尊重
2. 地域に開かれた存在
3. 協力と連携
4. 利用者とのパートナーシップ
5. 事故・災害への対応

白浜はまゆう病院は、夜間・休日を問わず
「365日・24時間の救急医療」に対応しています。

(財)日本医療機能評価機構 認定施設複合病院(一般・療養)Ver.5.0



CONTENTS

病院長あいさつ 2

新採用医師のご紹介 2

2009年度事業計画 3~4

再び歩くことが出来るように

～人工膝関節置換術を受けて～ 5

腫瘍内科のご案内 6

カウンセリング外来開始 7

DPC対象病院に参入 8

地域医療研修を体験して(寄稿) 9

管理栄養士
おすすめのレシピです 10

福がカエル(売店より) 11

患者さまからの声 11

●白浜はまゆう病院 外来診療担当表

院長あいさつ

平素は、皆様には、白浜はまゆう病院に一方ならぬご厚情を賜り、誠にありがとうございます。

早いもので私が赴任してはや3年が過ぎました。

兎にも角にも大過なくやってこられたのもひとえに皆様のおかげの賜物と深謝申し上げます。

さて、当院は7月1日より一般病棟(急性期病棟)の入院医療費の算出がDPC方式に変わりました。

多少の誤解を覚悟の上で端的に言えば、従来は入院中に行われた検査や投薬、手術・処置などの合計で算出された(出来高払い)入院医療費が、DPCでは入院された病名による定額の医療費となります(包括支払い)。

出来高払いでは、順調に経過すれば少なくて済み、病気の経過が優れずに入院が長引いたり、合併症や偶発症が起こったりすれば医療費は多くかかるわけですが、一方、DPCでは、病気ごとの定額ですから経過が良くないと検査の回数や使用する薬が嵩み、病院の負担が増えるわけです。

学生時代に、何人かの教授から、“日本の医療制度は良くないよ。卒業して研修医になった君らが治療をしても、僕らが治療しても同じ診療報酬なんだよ。それどころか、合併症を起こせばもっと儲かるんだよ”(無論、そんなことをおこせば患者様にそっぽを向かれることは承知の上での冗談半分の話ですが、念のため)といわれたことを思い出します。

医師の技量が病院経営に直接反映してくるわけで、患者様からすれば当然のこと、そして、医師はより一層日々研鑽し、慎重に丁寧に診療に当たることを求められます。

最後になりましたが、今年度も皆様から信頼され、安心してかかっていただける病院を目指して職員一同頑張って参りますので、一層の御指導御鞭撻のほど、よろしくお願い申し上げます。

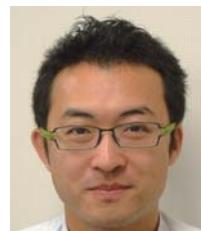


白浜はまゆう病院
院長 谷口 友志

4月より着任しました!!



神経内科／リハビリテーション
医長 佐藤 啓
—プロフィール—
1996年3月 愛知医科大学卒業
2001年4月 関西医科大学附属病院
2003年6月 白浜はまゆう病院
2007年4月 天理よろづ相談所病院



内科
医師 藤井 肇
—プロフィール—
2003年3月 島根医科大学卒業
2003年5月 天理よろづ相談所病院
2007年4月 天理よろづ相談所病院 白川分院

2年前まで白浜はまゆう病院に勤務しておりました佐藤啓です。

異動にて奈良県の天理よろづ相談所病院で勤務しておりましたが、この4月より再び白浜はまゆう病院に勤務させていただくことになりました。神経内科とリハビリテーションを中心に診療させていただきます。

明るく、元気なスタッフの皆さんと、地域医療のお役に立てるようになんばろうと思います。よろしくお願いします。

神経内科・リハビリテーション専門外来

診療日時 水曜日午後 14:00～17:00
木曜日午前 9:00～12:00

2009年4月より、白浜はまゆう病院にて内科診療をうけもたせていただいております藤井肇です。奈良県出身で、京都大学工学部卒後、島根医科大学医学部を経て天理よろづ相談所病院で勤務しておりました。

白浜はまゆう病院では一般内科医として、家庭医の範疇から緩和ケアにいたるまで、できることはなんでも取り組んでいきたいと考えています。

まだまだ経験不足で未熟ではありますが、紀南の医療に全力で取り組んでいきますのでどうぞよろしくお願いいたします。

内科1診

診療日時 月曜日午後 14:00～17:00
木曜日午前 9:00～12:00

2009年度の主な事業計画

本年度は、白浜はまゆう病院開院15周年の年度になります。

1994年2月に、47床、医師3人を含む46人のスタッフにより開院して以来、地域に密着して診療機能を拡充しながら、病院の運営体制を築いてきました。

少子高齢化が急速な勢いで進む中で、地域の医療・福祉ニーズは増大し、多様化していますが、定まらない医療政策のもとでは、中長期を見据えた病院運営のビジョンを示しづらい状況が続いています。

白浜町の65歳以上高齢化率は、遂に30%を超え、病院が立地する白浜地区の定住人口の減少は特に顕著であり、外来患者数の地区割合にも現れてきています。地域の医療提供体制では、公立病院の経営改革の取り組みが始まっており、医師不足・看護師不足が解消されない中、官民問わず各病院とも厳しい環境の中での経営が続いている。各医療機関の診療機能の分担とより緊密で実質的な連携づくりが必要になってきます。

2009年度介護報酬改定は、介護保険制度発足後、初めてのプラス改定として実施されますが、維持期のリハビリ点数の削減など検証すべき内容の多い改定となっています。

医療との連携や、認知症ケアへの対応が柱になっており、医療機関として介護サービスへの関わりが問われる内容です。また、介護療養病床の転換先と目される介護療養型老人保健施設の報酬体系も十分な改定とはいえない内容になっています。

本年度も、病院の運営においては、看護師及び薬剤師確保と定着など、マンパワー対策が課題になります。

療養病床の再編成対策は、最重点課題として位置付け、病床利用形態の各選択肢についてのシミュレーションを行い、関係機関等との協議を経て、転換方針を定めていきます。

2008年度整備が完了した関連診療所との電子カルテ・遠隔画像診断ネットワークシステムを診療に生かすとともに、医療サービスの質の向上、安全な医療提供などの諸課題を積極的に推進します。

医療環境が変化する中にあっても、地域に目を向け、地域に密着して、健康増進から診断・治療・リハビリテーション・看取りまでの一貫した包括的な地域医療と福祉の提供に努めます。

1. 公益事業

- (1) 「理念」「基本方針」「患者・利用者の皆様の権利と義務について」の推進に努め、年度末に見直し検討を行います。
- (2) 新公益法人制度への移行に必要な諸準備を整えて行きます。
- (3) 高齢化・過疎化が進む地域における、地域医療・福祉の提供体制づくりを研究します。
- (4) 院内研究発表大会を開催し、医療・ケア・サービスの向上に努めます。
- (5) 「健康教室」を定期開催し、地域住民の健康意識の向上に努めます。
- (6) 「年報」「院外情報誌」を定期発行し、財団の情報を発信します。
- (7) 白浜はまゆう病院と財団関係診療所を結ぶ診療情報ネットワークシステムの有効活用に努めます。

2. 白浜はまゆう病院

- (1) 医療相談室・地域医療連携室と在宅介護支援センターを統合し「地域ケア室」を設置します。
- (2) 7月より、DPC(診断群分類包括評価)に参入し、一般病床の入院において、標準化・透明化された医療を推進して、医療安全・チーム医療の推進、患者の医療への参加を得て、医療の質を高めるとともにコストパフォーマンスの高い運営を行います。
- (3) 療養病床の転換は、地域の医療・介護ニーズ、医療提供体制を踏まえ、地域の医療資源として、有効に活用できるよう調査検討し、転換方針を定めます。
- (4) メンタルヘルスケア推進の一環として、臨床心理士によるカウンセリング外来の早期開始をめざして準備を促進します。
- (5) 増加する関節疾患治療及び人工関節置換手術等に、より専門的に対応できる医師体制及び手術体制を整備していく。仮称「人工関節センター」設置の検討を促進します。
- (6) リハビリテーション機能の充実として、担当医師1名の増員を行います。理学療法士25名、作業療法士11名、言語聴覚士5名体制とします。地域リハビリテーション広域支援センターとして、活動の充実を図ります。
- (7) 医師派遣を受けている大学医局との関係を維持するとともに、医師求人情報の発信等あらゆる方法を駆使して医師の確保に努めます。

- (8) 看護師確保が困難状況が深刻化しており、看護師確保対策委員会を継続して募集の取り組みを強化します。
- (9) 薬剤師不足が更に深刻化する中で、欠員となっている薬剤師が採用できるように取り組みます。
- (10) 安全で危機に強い病院づくりを進めます。
- (11) 開院15周年を記念して、病院事業発展に向けてのステップにするための記念事業を企画します。
- (12) 介護報酬改定・施設基準の内容を見極め、対策を講じながら、収益確保とコスト管理を徹底して、健全経営の維持に努めます。

3. 西富田クリニック

- (1) 万全な医療を提供し、安心してかかる、心やさしいクリニックづくりを進めます。
- (2) 白浜はまゆう病院との連携により、地域における外来診療機能の充実に努めます。
- (3) 整形外科、小児科診療の充実・安定を図ります。
- (4) 白浜はまゆう病院及び訪問看護ステーションたんぽぽと連携し、「在宅療養支援診療所」の体制を充実し、在宅医療の提供に努めます。
- (5) 遠隔画像診断システム等のIT化を推進し、医療の充実に努めます。

4. 鮎川診療所

- (1) 地域に密着した運営を行い、気軽にかかる診療所づくりに努めます。
- (2) 24時間体制で往診、訪問看護に対応する「在宅療養支援診療所」として在宅医療の充実を図ります。
- (3) 検査シャトル便の活用等、財団関係施設との一体的な運用に努めます。
- (4) 電子カルテシステム・遠隔画像診断システムを活用し、財団施設間の診療情報を共有し、診断・治療の向上に努めます。
- (5) 昨年4月より開始した整形外科診療を継続して診療の充実に努めます。

5. 日置診療所

- (1) 地域に密着した運営を行い、気軽にかかる診療所づくりを進めます。
- (2) 24時間体制で往診・訪問看護に対応する「在宅療養支援診療所」として在宅医療の充実を図ります。
- (3) 検査シャトル便の活用等、財団関係施設との一体的な運用に努めます。
- (4) 電子カルテシステム・遠隔画像診断システムを有効に活用し、診断・治療の向上に努めます。

6. 川添診療所

- (1) 地域に密着した運営を行い、気軽にかかる診療所づくりに努めます。
- (2) 白浜はまゆう病院との更なる連携を図り、地域住民が安心できる診療所運営に努めるとともに、電子カルテシステム・遠隔画像診断システムの有効活用に努めます。
- (3) 地域の保健・福祉・介護事業所・学校と連携し、医療面での支援・協力に努めます。

7. 訪問看護ステーションたんぽぽ

- (1) 積極的な訪問活動を推進します。
- (2) 他の事業者との連携を大切にして、サービスの円滑な提供に努めます。
- (3) 訪問看護師(10名)、リハビリスタッフ(PT・OT 4名、ST 0.5名)体制とし、利用者が安心してサービスが受けられるように努めます。
- (4) より質の高い看護・リハビリの提供に努めます。



再び歩くことができるよう

～人工膝関節置換手術を受けて～

リハビリテーション室 主任 理学療法士 田中 良実

当院では、変形性膝関節症に罹患され、疼痛のために歩く事が出来なくなった方が、痛みを取り除き、再び歩く事が出来るようになるために手術(人工膝関節置換術)が行われています。

私たち理学療法士はその後のリハビリを担当させて頂いております。

大抵の方は、長時間、変形した膝関節の痛みを我慢し生活していたため、筋肉が硬くなってしまっていたり、手術後の炎症で痛みが強かったりします。リハビリでは、その痛みを減らすようリラックスしてもらい、筋肉が再び働くように運動をします。また膝を曲げて立ち上がる練習や杖等で歩く練習をします。

実際に手術を受けられ、退院された方々の声をご紹介いたします。



リハビリ訓練の様子

70代
女性

両側 人工膝関節置換術(以下TKA)

今まで、膝が痛くて歩くのがつらかった。手術してからは旅行も行けてほんと金本先生のおかげです。(娘さんと海外旅行に行ってきたとのお話をでした。)

70代
女性

右TKA

今まで、踏ん張って立てなかつたのに、手術してから痛みも減ったし、立てるようになりました。うれしいです。

70代
女性

右TKA

手術したら、足はまっすぐになったけど、痛いし、熱出てくるし、まだなかなか歩けん。けど、前より痛みはまし。頑張ります。

50代
女性

右TKA

手術をする前は自分の立ち姿を鏡で見るのが嫌でした。手術後は膝もまっすぐになり、普通に立てているような気がします。歩くのも手術をした側は楽に歩けるようになりました。

60代
男性

左TKA

快調です。手術して2年半くらいになります。時に小走りに走ったりしていますよ。手術して少しの間は違和感があったんですけど、よくなりました。

70代
女性

両側TKA

諦めていた旅行に行ける！今まで歩くと痛みが出てきて、同行者に迷惑を掛けられないから、旅行へいくのも諦めていました。長く歩いても痛みがましなので、残りの人生、いろんなところにいきたいです。夢いっぱいです！！

80代
女性

左TKA(県外から手術目的に来られた方)

術創部がケロイド状になっており、術後から1年近く痛みが続きました。1年経ってようやく痛みが治まってきました。近所の温泉にいって、自分でも曲げ伸ばし頑張っています。

60代
男性

左TKA

手術する前は伝い歩きだったけど、歩けるようになりました。

回復の期間には個人差がありますが、当院での入院期間は平均5週間です。退院後の自宅生活で歩くのがスムーズになられる方もおられます。

私たちは、今後もこのような喜びの声を多く聞くことが出来るように、真心込めてリハビリを実施していきたいと考えています。

腫瘍内科のご案内

～最先端の抗がん剤治療～

こんにちは。腫瘍内科および消化器科の佃博です。

腫瘍内科とは、がんの診断・予防・治療、それに緩和医療を行う科です。

血液のがんを除いて、がんの診断に採血検査はあまり有用ではなく、画像さらに病理診断が必要となります。したがって腫瘍内科だけでなく、消化器科や呼吸器科、婦人科、泌尿器科といった各専門科で検査を受けて頂くことが多いです。そこで組織や細胞を探って診断をつけます。

最近では予防の大切さがいわれます。研究が進み、どのような人にがんができやすいか分かってきたからです。たとえば、肝臓がんはウイルスやアルコール、胃がんはピロリ菌、食道・喉頭がんはタバコとアルコール、大腸がんは運動不足やアルコール、肺がんはタバコ、子宮頸がんはパピローマウイルスと強い関係があります。

がんになりたくなければ、そういうリスクを無くし、リスクのある人は早期発見に努めるようにします。

手術治療は外科、放射線治療は放射線科にお願いします。内視鏡治療やラジオ波治療は内科でも行います。転移を有するがんや血液のがん、再発リスクのあるがんの手術後には化学療法を行います。

最近この分野の進歩は目覚ましく、数年前には余命数ヶ月であった症例でも、今では何年も延命できるようになりました。治る場合もあります。

また緩和医療も進歩しました。麻薬性の痛み止めにも貼り薬があり、内服ができない人や在宅の方にも投与できます。中毒の心配はありません。「がん=痛みで苦しむ」というのは過去のものです。

このように患者様を総合的に見て治療を組み立てる能力が、腫瘍内科医には要求されます。非常に進歩が早い分野であり、最新の知識を身につける努力が必要です。またさらに患者様とのかかわり上、自身の死生観をしっかりと持つことも要求されます。精神的にもタフであることが要求されます。

今のところ、和歌山県で腫瘍内科外来は当院のみです。初診は月曜日の午後4診で行っています。セカンドオピニオン等がんに関する相談も遠慮なくおっしゃって下さい。



化学療法室

腫瘍内科 診療日

月曜日 午前 受付 8時30分～11時30分(初診も可)

午後 受付 1時30分～4時30分(予約診)

木曜日 午前 受付 8時30分～11時30分(予約診)



カウンセリング外来を始めました

臨床心理士 森口 浩司

2009年6月よりカウンセリング外来を始めました。普段の生活の中で、誰でも大小悩みを抱えていると思います。その悩みが大きすぎて一人では抱えきれなくなることもあります。そういったときにお話を聞き、一緒に考えていくものがカウンセリングです。

仕事や学校、家庭生活など日々の生活の中にある様々なこころの問題について臨床心理士がお伺いいたします。どうぞお気軽にお問い合わせください。



カウンセリングの様子

対 象 中学生以上の方

受 付 方 法 完全予約制 予約を希望される方はお電話にてお申し込みください

予 約 受 付 時 間 月曜日～水曜日 金曜日 9:00～17:00

電 話 電話番号 0739-43-6200 (代表)

カウンセリング時間 毎週火・水曜日 時間に応じてご相談に応じます

料 金 ／ 担 当 50分 2,500円／臨床心理士 森口 浩司



1

カウンセリングは健康保険適用外となりますので、自費料金となります。

2

カウンセリング外来では投薬はできません。お薬が必要な場合やカウンセリングがご本人様にとって有益でないと判断した場合には、適切な診療科・医療機関を紹介させていただきます。

3

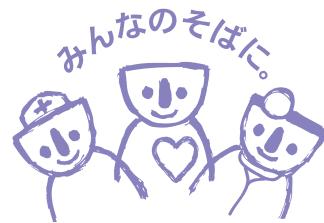
予約受付は臨床心理士が行わせていただきますが、面接中等で対応できない場合につきましては後ほど改めてご連絡させていただきます。

4

カウンセリングの内容については一切漏れることはございませんので安心してご相談ください。但し、やむを得ず情報提供が必要となる場合には、ご本人様の了承を得た上で、必要な情報のみお伝えする場合がございます。

入院医療費の計算方法が変わります

当院では、2009年7月より厚生労働省が認定する【DPC対象病院】となり、一般病床(82床)における入院医療費の計算方法が出来高払い方式から包括支払い方式に変わりました。



1.DPC(診断群分類包括評価)とは?

今までの入院医療費の計算方法は、診療で行った検査・投薬等の内容に応じて医療費を計算する【出来高払い】方式でした。

DPCとは、患者様の病気や症状をもとに診療行為に応じて定められた1日当たりの医療費を基本として、全体の医療費を計算する会計方式【包括支払い】方式です。

【包括】に含まれるのは、入院基本料や検査、処置、投薬、注射、画像診断等となっており、手術やリハビリテーション、一部の検査・処置等については従来どおり【出来高払い】方式での計算となりますので、入院にかかる医療費は【包括】分と【出来高】分をあわせたものになります。



2.対象となる病床は?

DPC対象となるのは、一般病棟(本館4階・5階)に2009年7月1日以降入院または転入された患者様であり、外来診療、本館3階、新館3~5階に入院されている方は対象外です。

3.医療費が高くなるの?

患者様の病気の種類や治療内容、入院日数によっても1日あたりの医療費が変わるために、高くなる場合もあれば安くなる場合もあります。

DPCは医療の質の向上と標準化を目指すものであり、単に支払い方式の改革だけでなく、良質な医療、効率的、効果的な医療、医療の透明化等を図るために実施されるものです。

なお、高額療養費制度の取扱いは従来と変わりありません。



泌尿器科結石治療装置導入

機器名:Versa Pulse Select 80W

ボストン・サイエンティフィック ジャパン株式会社

2009年4月末、泌尿器科にホルミウムレーザー装置を導入し、当院で結石治療や前立腺手術を行えるようになりました。

ホルミウムレーザーは結石治療において様々なタイプの結石にも効果があり、前立腺手術においても出血が少なく治療ができます。



当院では、日赤和歌山医療センター、和歌山県立医科大学附属病院の臨床研修協力施設として、臨床研修医の受入れを行っています。今年度は、日赤和歌山医療センターより8名、和歌山県立医科大学附属病院より4名を受け入れ、2週間～1ヶ月の研修が予定されています。

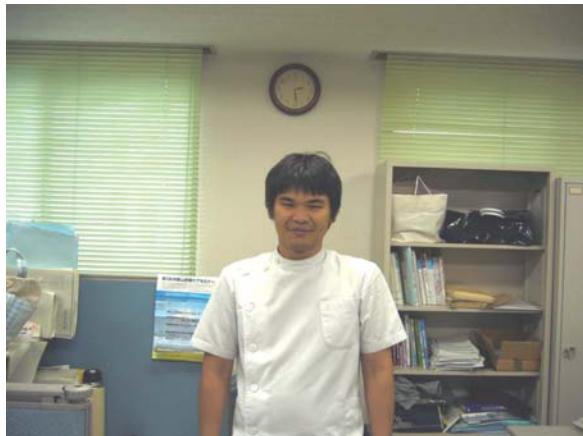
今回は6月の1ヶ月間当院で研修を行った、和歌山県立医科大学附属病院 吉松卓医師に研修の感想を寄稿していただきましたのでご紹介します。

地域医療研修を体験して

和歌山県立医科大学 研修医 吉松 卓

私は臨床研修の一環として、地域医療を学ぶ目的で白浜はまゆう病院での研修を経験させていただきました。研修では紀南でも有数の内視鏡部門などを体験するとともに、訪問診療や訪問看護をはじめ、各診療所とも連携した地域に根ざした医療について学ばせていただきました。

白浜はまゆう病院では、地域の方々に配慮した診療を行えるよう様々な気配り



医局内の吉松医師

がされています。その一つが、関連した各診療所と共に電子カルテシステムを採用して診療情報を共有している点です。このシステムにより、病院での検査の結果を近隣の診療所で聞くことや、診療所で対応できない検査を病院で受けること等が可能となります。情報の共有による適切で安全な医療を患者様に提供できるのはもちろんですが、医療機関への受診が困難な方々も多いという地域の実情にも配慮したものとなっていると感じました。

また、病院では訪問診療・看護を積極的に行っているのも特徴の一つです。訪問診療・看護では、身体だけではなく社会的な側面にも配慮が必要とされます。高齢独居や老老介護をはじめ、患者様を取り巻く状況は様々ですが、「一見ただの世間話のような会話の中からも、患者さんの変化を感じ取るんです」とおっしゃる先生や看護師さんの言葉にはなにか深いものを感じました。

白浜は日本でも有数の観光地として知られていますが、その一方では高齢化や過疎化という問題も抱えた地域でもあります。白浜はまゆう病院のような、本当の意味で地域に根ざした医療が必要とされています。今回の研修でお世話をされた方々に深く感謝するとともに、この経験を今後の診療に活かしていくべきだと思っています。

私たちが おすすめする カラダにおいしい とっておきレシピ

第4回



～食べて元気!暑い夏を乗り切ろう～

梅雨が過ぎ夏本番、毎日暑い日が続きます。そうめんやアイスクリーム、スイカなど冷たい物が好まれますが、つい「体がだるい」「食欲がない」夏バテ気味…。なんて事にはならないように毎日しっかり食べましょう。

体を冷ますといわれる夏野菜に豊富に含まれるビタミン・ミネラルは体調を整えるためにかかせない栄養素、また年中人気のカレーですがカレーに使われているスパイスに共通するのが、発汗・消化促進・抗酸化作用など。組み合わせる事でより効果が高まり、胃腸の動きを良くし、食欲を増進させて疲労回復の効果が期待でき、夏野菜とスパイスを組み合わせたカレーは夏バテ防止メニューにぴったりです。

レシピ以外でも、南瓜やオクラ、冷蔵庫にある残った野菜も色々使って手早く出来る夏のドライカレーを紹介します。

白浜はまゆう病院 食養科副主任（管理栄養士） 玉置 公子

夏野菜のドライカレー

<2人分>	生姜	1片
合挽きミンチ … 160g	ウスターーソース	大さじ4
ナス …… 2本	ケチャップ	大さじ2
パプリカ …… 1/2個	生クリーム	大さじ2
ピーマン …… 小2個	カレー粉	大さじ1と1/2
玉ねぎ …… 1/2個	サラダ油	大さじ1
ニンニク …… 1片	塩・こしょう	適量

栄養価(1人分)ドライカレーのみ

エネルギー…470kcal 脂質………26g
蛋白………20g 塩分………3.7g



作り方

- ①ナスはへたをとり、パプリカ、ピーマンはへたと種をとつてそれぞれ一口大の乱切りにする。ニンニク、生姜、玉葱はみじん切りにする。揚げ油を中温に熱し、ナスの水気をよく拭いてからこんがりとするまで揚げて取り出す。
- ②フライパンにニンニク、生姜を入れ炒める。さらにひき肉を加えポロポロにほぐれたら、塩、こしょうし、玉葱を加えて炒め、パプリカ、ピーマンを加えてなじむまで炒める。カレー粉、ソース、ケチャップ、生クリームを加え全体がなじむまでよく炒め合わせる。
- ③揚げたナスを戻し入れて炒め合わせる。
ご飯やナンと一緒に食べるのはもちろんですが、レタスなどの野菜で包んで食べても美味しいだけます。

「福かえる」「無事かえる」「幸せがかえる」

～白浜はまゆう病院 売店
白浜コスモスの郷 スタッフ一同～

いつも当売店をご利用頂きまして、大変ありがとうございます。

当店には、いつも皆様を暖かくお出迎えしているもう一人のスタッフがいることをご存じでしょうか？

愛嬌たっぷりと一目で癒される、カエルのぬいぐるみの事を…

一針一針と、まごころをふんだんに込められて出来上がった縁起物です。

「気に入ってくれて欲しいという方に、どうぞ差し上げて下さい。」と、白浜はまゆう病院に通院されているご夫婦から頂いております。

是非とも、お立寄り下さいませ。



カエルのぬいぐるみ



患者さま からの 声 Voice

Q 朝の受付時、高齢の方方が早く来て待っています、後から来た若い人に抜かれて後回しになっています。コンピューターの受付を30分早めて、各々の診察場所にカゴを置いて受付できるようにすれば良いと思います。このことは以前から何度も言っていますが何の改善もされていません。他の病院はそうしたシステムを取っています。コンピューターを30分早めるのにそんなに労力も要らないと思いますが？

A 当院では、来院順番カードなどの方法を取り入れていないため、受付開始時の順番どりにおいてご指摘のような状態になることがあります。高齢の方などが、後回しになるような状況を解消できるよう、事務員が受付機の傍に立ち、適宜声かけや受付操作のお手伝いをするなどの対応を行っております。また、当院の受付開始時刻は、診療開始の30分前と定め運営しています。受付時間を早めるご提案につきましては、その時刻に患者様が集中することも懸念されることや、結果として待ち時間を増長することになりますので、現状を維持させていただきたいと考えています。いただきましたご意見の主旨には常に配意して、受付業務に当たらなければならぬと感じております。

今後ともご指導の程よろしくお願ひ申し上げます。

Q 診察の1週間前に採血だけで来なくてはならないのは、強制ではないにしろ患者にとつてとても負担です。シャトルバスまである病院なのに、検査も充実させて欲しい。診察の1時間ほど前に来て当日の検査結果で診察してもらえるというのが、患者にとっても医師にとっても有難いこと、必要なことだと思います。



A 当院の臨床検査のシステム上、採血のためにご来院をいただくことになり、申し訳なく感じております。ご承知のこととは存じますが、血液検査の場合、検査項目によっては、結果が出るまでに日数を要するものもあります。また、当院は、施設・設備の制約等があり、検体検査等は検査会社に委託する方式をとっています。検査結果は、少しでも早く診療に活かせるよう検査会社からオンラインでデータが送信されるシステムを導入していますが、日数がかかる検査でも、採血後約半日の時間を要することになっています。当院の実情では、現状の検査体制を大きく変更することは、至難な状態にあります。これからも、検査結果を反映した治療を行っていくうえで、採血のために事前にご来院をいただかざるを得ないことは、誠に心苦しいのですが、ご理解を賜りますようお願い申し上げます。

白浜はまゆう病院診療担当表

電話 43-7880(受付) 43-6200(代表)

診療科			月	火	水	木	金	土	
内科	内科1(初診)	午前	山崎	立田	伊藤揚	藤井	田中	高村	
		午後	藤井	木下	松本	木下	立田		
	内科2(再診)	午前	木下	伊藤浩	松尾	松尾	山崎		
		午後	松本	伊藤浩		松本	山崎		
	内科3(再診)	午前							
		午後							
	内科4(再診)	午前	佃	齊藤	中川	佃	伊藤浩		
		午後	佃		立田		伊藤浩		
	内科5(再診)	午前		伊藤揚	谷口	伊藤揚	谷口		
		午後	田中		谷口		木下		
外科 胃腸科			午前	当番医	岡山	川口	岡山	川口	
脳神経外科			午前				中北		
整形外科	整形1(初診)	午前	当番医	リウマチ外来	岩切	金本	岩切	金本	
		午後	ギプス装具外来						
	整形2(再診)	午前	金本	金本					
		午後	古久保	古久保	古久保	古久保	古久保	古久保	
小児科	午前	古久保	古久保	古久保	古久保	古久保	古久保	古久保	
	午後	古久保	古久保	古久保	古久保	古久保	古久保	古久保	
産婦人科	午前	國部	國部	國部	國部	國部			
	午後		國部	國部	國部	國部	國部		
皮膚科	午前							県立医大・京都大学	
	午後		県立医大・京都大学						
眼科			午後		藤田				
耳鼻咽喉科			午後			県立医大			
循環器外来	午前		伊藤浩				伊藤浩		
	午後		伊藤浩				伊藤浩		
呼吸器外来	午前			松尾	松尾				
	午後			松尾					
アレルギー・呼吸器専門外来			午前		中川				
腎臓内科			午前		齊藤				
泌尿器科外来			午前	柏木	柏木	柏木	柏木	当番医	
神経内科・リハビリテーション専門外来	午前	小口	廣西	小口	佐藤	石口			
	午後	廣西		佐藤	小口／森田				
緩和ケア外来(予約制)			午後		伊藤浩				
心療内科 漢方外来			午後	田中	立田				
膠原病・糖尿病専門外来			午前		伊藤揚	伊藤揚			
糖尿病専門外来			午後		井神				
消化器専門外来	午前	山崎		谷口		山崎／谷口			
	午後			谷口	木下	山崎			
腫瘍内科	午前	佃			佃				
	午後	佃							
循環器・高血圧専門外来			午前				有田(月2回)		
関節専門外来			午前					金本	

	受付時間	診療時間	●休診 土曜日午後・日・祝
午前(月～土)	8:30～11:30	9:00～12:00	
午後(月～金)	13:30～16:30	14:00～17:00	
眼科(水)	12:00～14:30	12:30～15:30	
皮膚科(火)	13:00～15:45	13:30～16:00	
糖尿病外来(火)	14:00～16:00	14:00～16:00	
耳鼻咽喉科(木)	14:00～16:30	14:30～17:00	
循環器・高血圧専門外来(土)	8:30～11:00	9:00～12:00	
神経内科・リハビリテーション専門外来(森田)	13:00～16:00	13:00～16:00	

※診療時間外(夜間・休日)に
具合が悪くなったときは、
日時に関係なく受付しま
すので、白浜はまゆう病院
へ電話で連絡ください。



(財)白浜医療福祉財団

白浜はまゆう病院 ●理事長 立谷誠一 ●院長 谷口友志

〒649-2211 和歌山県西牟婁郡白浜町1447番地

TEL.0739(43)6200 FAX.0739(43)7891 [E-mail] hamayu@mb.aikis.or.jp [URL] http://www.hamayu-hp.or.jp/

- 西富田クリニツク 〒649-2334 和歌山県西牟婁郡白浜町才野1番地
- 鮎川診療所 〒646-1101 和歌山県田辺市鮎川1583番地の3
- 日置診療所 〒649-2511 和歌山県西牟婁郡白浜町日置206番地の1
- 三舞診療所 〒649-2532 和歌山県西牟婁郡白浜町安居3番地
- 川添診療所 〒646-0301 和歌山県西牟婁郡白浜町市鹿野1103
- 訪問看護ステーションたんぽぽ 〒649-2211 和歌山県西牟婁郡白浜町1447番地
- 白浜はまゆう病院在宅介護支援センター 〒649-2211 和歌山県西牟婁郡白浜町1447番地

- TEL.0739(45)3600 FAX.0739(45)3678
- TEL.0739(48)0031 FAX.0739(48)1005
- TEL.0739(52)2002 FAX.0739(52)4192
- TEL.0739(53)0001 FAX.0739(53)0001
- TEL.0739(54)0037 FAX.0739(54)0037
- TEL.0739(43)5226 FAX.0739(43)0682
- TEL.0739(43)7870